

意見交換会記録第一グループ

- ・ 環境課と協働して環境マップを作成しました。
- ・ 市内の河川、湧水がどこにあるのかをマップに示しました。
- ・ 自然というのは全く手をつけない自然がいいのか、人が手を入れて保全するのがいいのかを考える必要がある。
- ・ 市内に公園がこれだけあるのを初めて知った。
- ・ テーマが難しい、大きすぎる。
- ・ 公園に人が集まっているのが素晴らしい。
- ・ 歴史のある自然は国、県、市、教育委員会の史跡として残して欲しい。
- ・ 和光市は老後の健康維持のために自然と触れ合うことができ嬉しい。
- ・ 大坂ふれあいの森、富沢湧水を知っていただきたい。
- ・ 2015年に富沢湧水が白子宿特別緑地保全地区に指定をされた。
- ・ 湧水がすぐに側溝に流れていってしまうのが勿体無い、湧水の有効な使い方を考えて欲しい。
- ・ 都市部に近い場所にある自然は人の手で保全していかなければいけない。

- ・湧水は飲める水ですが、何かあるといけないので、「沸かして飲んで下さい」等立て札があれば色々な人が飲みやすくなる。
- ・自然環境のバランスが難しい。
- ・自然環境を守るためにはお金がかかるが、役所は何かにつけて出来ない、予算がないという。すぐにボランティアに頼ろうとするが、ボランティアを続けるのもお金がかかる。環境団体の補助金を増やして欲しい。ボランティアはタダですか、と問いたい。
- ・アトム券や弁当等で報酬を出してもいいのではないのか。

平成 29 年 11 月 7 日議会報告会第 2 グループ意見交換会記録

- 白子川は湧水で成り立っているが、白子 2 丁目周辺で湧水の調査をしている。この地域では毎秒 14 リットル、年 47 万トンの湧水が川から流出しており、もったいない。湧水保全について計画性がなくこのままでは保全できない。川もずく（藻類）は和光市のみで生息している生物であるが天然記念物にして湧水保全の引き金としたらと思っている。
- 第 5 小の横に白子川のわくわくパークがあるが現在閉鎖されている。開園するための協議の場を設けて欲しい。教育の場としても有効なので市と一体となってやりたい。
- 北インターは 5 年で完成したが、駅北口駅前にはオリンピック控えて地権者との難しい問題を抱え大変だが早期に整備してほしい。自然環境の良いところに住んでおり満足しているので駅北口駅前の整備に期待する。
- 駅北口駅前からふるさと民家園、大いちょうの長照寺、午王山まで自然環境を散策できる自然散歩のルートに木を植え、点を線にすれば 1997 年頃関東鉄道駅 100 選に選ばれた田園調布駅のような景観ができる。その先 1.5 km 歩けば荒川の船着き場ができるので、これを組み合わせれば外国人も来てにぎやかになる。
- 駅北口駅前に大きな樺があったが切られてしまって残念。保全樹木を維持していくには 4,000 円の補助金だけでは守れないので政策を考えていただきたい。
- 和光市にみどりの基金がないが、都市計画税の引上げ分の半分はみどりの基金に充てたらどうか。
- 午王山の生産緑地の所有者が亡くなり売りに出されている話がある。古墳公園にしたいと言う議員もいるので市で買い取りを考えて欲しい。
- 平成 21 年にみどりの基本計画ができ機能し資金の手当てを書いているが、何も進捗していない。
- 配布資料の和光市自然環境マップのみどりの中で既に 3 か所のみどりがなくなりつつある。このままでは全てなくなる。市はみどりと湧き水にもっと関心を持ってほしい。
- 2022 年には生産緑地が更新され 8 割が満期を迎え、農地が放置される。2025 年には団塊世代がすべて 75 歳以上の後期高齢者に移行する多死社会となって土地の相続がばっと出てくる。危なっかしい。一気にみどりがなくなる懸念がある。立地条件の悪い斜面地が真っ先に売りに出される。
- 相続が起こってから動くシステムではダメ。白子宿緑地は指定してずっと持

っていただいている。それによって財源確保の義務が生じるので、そこにお金が入られる。それを活用したらどうか。

- 特別緑地保全地区、市民緑地の期限来たら地権者は買ってくださいというが市が買わないのはおかしい。他市は基金制度を持っているので和光市は例外。和光市は基金を復活させるのが大事。
- 和光市の公園とか緑地はほとんど私有地と聞くが、何らかの基金を作って公有地化する手立てが必要。隣の市の朝霞市ができてなぜ和光市はできないのか。

平成 29 年 11 月 7 日 (火)

議会報告会意見交換記録メモ『自然環境について』

第 3 グループ (第 3 委員会室) 参加者 6 名

参加者：自然保護活動として午房山の自然を守り、10 年間。今後も、午房山遺跡を守っていききたい。

参加者：午房山の斜面林を守っていききたい。また、芝桜の手入れが大変。和光市は都市化が進み、街の空気が変わった。以前は、成増から和光に入るとなんか雰囲気違っていたが、様変わりした。今後も緑の保全に力を入れ、頑張してほしい。

参加者：自然環境を守りたいが、どうやったら自然を残せるのか。和光市として、少ない予算でも今後丁寧に調査する必要がある。

また、活動として洗い場のカタクリの花を大坂ふれあい森に移植をし、野草を守っている。

参加者：春のウォーキング散策などで和光市の自然にふれあっている。子どもたちが、谷中川と越戸川の合流地点で水遊びをしているが、今後も残してほしい。

参加者：東部地区の区画整理には、反対している。

参加者：大坂の湧水は貴重だが、湧水のだいぶ濁水してきている。また、湧水の買い取りなどしてはどうか。